



赤ちゃんの駅を示すマーク



本山 英子
議員

(仮称)松尾交流館について

問 駐車場について
(仮称)松尾交流館と
ふれあいセンターの駐車
可能台数が100台とい
うことだが、どのように
お考えか。

答 総務部長 今後は、
さまざまなイベント
等の開催等もありますが、
各施設等の利用が重なる
場合は、近隣の公共施設
こども園、小学校、IT
保健福祉センター、空港
シャトルバスの駐車場等

も利用し、対応していき
たいと思います。

問 赤ちゃんの駅の設
置はどうか。

答 総務部長 市では、
子育て支援の取り組
みの一つとして、乳幼児
を連れた保護者の方が安
心して外出できる環境作
りを進めており、子育て
に優しいまちづくりを推
進するために、現在12の
公共施設を赤ちゃんの駅
として登録しています。

(仮称)松尾交流館内にも
授乳室・おむつ替え室を
設けており、赤ちゃんの
駅機能を満たしますので、
登録していきたいと思っ
ます。

問 シャワーの使用に
ついてはどうか。

シャワーの使用に
ついてはどうか。

答 総務部長 施設を使
う方が、軽く汗を流
すようなシャワールーム
だと考えています。また、
コイン式等については、
実際に利用が始まってか
ら、状況を注視し、検討
課題とさせていただきま
す。

問 交流館内の塾につ
いては、現状どのよ
うにお考えなのか。

答 総務部長 松尾の地
域づくりに、高校の
存在は欠かせません。交
流館内の塾については、
地域と学校、行政が連携
し、生徒一人ひとりの夢
の実現、学習意欲の向上
に寄与する、さらには教
育格差のない地域・まち
づくりを推進し、グロー
バル人材の育成を図る場
として考えています。ま
ずは、松尾高校の生徒の
利用を考えていますが、
まだ松尾高校と十分な協
議を進めておりませんの
で、高校側の意見等を調
整、また協議を重ねなが
ら、慎重に対応していき
たいと考えております。

市民に愛される施
設として、にぎわい
の創出をどう考えるか。

問 市民に愛される施
設として、にぎわい
の創出をどう考えるか。



建設中の(仮称)松尾交流館
(撮影：7/15)

答 総務部長 多くの方
に実際に足を運んで、
利用し、親しんでいただ
くことが必要だと考えて
います。今年度は体験講
座として、子育て世代の
お母さんたち対象の「ベ
ビーダンス」や高齢者対
象の「ダンスセラピー」な
どを計画し多くの人にダ
ンスと触れ合う機会をつ
くり、裾野を広げていく
ことが大切だと思えます。

答 市長 地元の方々の
応援が、大変大きな
鍵を握っています。当然、
しっかりと取り組んでま
いりますが、地域の方々
のご協力をよろしくお願
いいたします。

エコノミックガーデニング事業について

問 現在の取り組み状
況はどうか。

答 経済環境部長 今年
度末をめどに、産学
公民金の地域の人的資産
を結集し、推進母体を結
成すべく、商工会青年部
と市が準備委員会を結成
して活動を行っています。

問 将来、取り組みの
主導権を民間に手渡
したときの公の行政の係
り方はどうか。

答 副市長 活動を官が
主体となっていくのは、
は、極力少なくしたほう
が望ましいですが、現下
の低経済成長の中、また
地域の中小企業が置かれ
た状況では、官・役所が
リードすることも止むを
得ないのではないかと思
います。取り組みが緒に
ついた暁には、民の主導
で実施していくことが望
ましいと期待しています。

安全・安心なまちづくりについて

問 緑海橋の老朽化に
ついて、どう対応し
ていくのか。

答 都市建設部長 昭和
36年の架橋で、既に
50年以上が経過しており、
老朽化も懸念されていま

す。県では、橋梁長寿命
化、修繕計画を策定して
おり、計画的に修繕を
行っていくと聞いていま
す。

50年以上が経過しており、
老朽化も懸念されていま